

# 環境レポート

## 2019



# もくじ

---

## 環境マネジメント

- 2 会社概要・マネジメントシステム体制
- 3 CSR方針
- 4 マテリアルフロー
- 5 各種データ
- 6 環境法令の順守状況

## 安全衛生活動

- 8 健康経営宣言・緊急訓練

## 環境保全活動

- 9 SDGsの取り組み
- 11 環境改善活動
- 12 地域社会とのかかわり
- 13 産業廃棄物処理業者視察
- 14 教育支援活動

---

### 編集方針

- ・対象期間 2018年4月～2019年3月（2018年度）  
一部2017年の活動内容も含まれます。
- ・参照したガイドライン 環境省 環境報告書の記載事項等の手引き（第3版）2014年5月
- ・発行年月 2019年11月（次回発行予定 2020年10月）

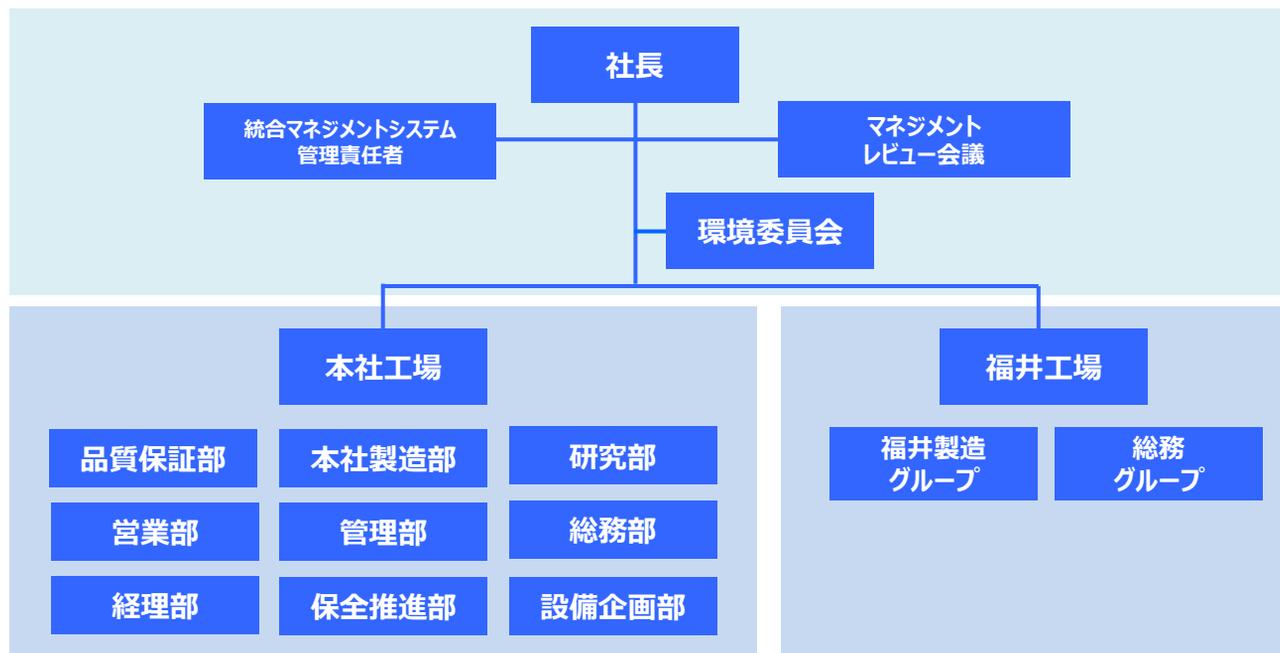
表紙写真：本社工場新プラント 4PEX(2018年9月完成)

## 会社概要

会社名	小西化学工業株式会社
本社所在地	〒641-0007 和歌山県和歌山市小雑賀3丁目4番77号 TEL：073-425-0331（代）
福井工場所在地	〒913-0038 福井県坂井市三国町テクノポート2丁目8-2 TEL：0776-43-0331（代）
創立	1962年（昭和37年9月）
売上	52億円（2019年3月期）
代表者	代表取締役社長 小西 弘矩
従業員数	124名（2019年3月末時点）
事業内容	情報電子材料、機能性樹脂、感熱紙用顕色剤、ポリマー改質剤、 エポキシ樹脂硬化剤、ケイ素系有機・無機ハイブリット材料等、 機能性化学品の開発・製造・販売及び受託製造

## 環境マネジメントシステム体制

本社では2002年5月に、福井では2014年11月に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。また、CSR方針を2011年に制定し、環境への負荷に配慮し省資源、省エネルギー活動を推進しています。



# CSR方針

---

小西化学は事業活動を通じ、企業の社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献し、同時に会社を永続させるため、CSR活動を実施してまいります。

1

事業活動において適用される国内外の法令及びその他の要求事項を順守してまいります。

2

無事故、無災害の継続とリスクマネジメントにより地域社会と社員の安全を確保します。

3

製品の開発、生産、廃棄にいたるライフサイクルの全てのステージにおいて環境への負荷に配慮し、汚染、漏洩、流出の防止に努めるとともに、化学物質の適正管理を行います。

4

製品安全を進め、品質管理の徹底と管理レベルの向上により、お客様から信頼され、愛される製品を作ります。

5

省資源・省エネルギー活動を積極的に推進し、CO<sub>2</sub>の排出削減、地球温暖化の防止に努めます。

6

社員の多様性・人権を尊重し、生き生きと働きやすい環境の確保に努めるとともに、業務を通じ自己実現を援助します。また、児童労働や強制労働を排除します。

# マテリアルフロー

本社工場・福井工場を対象に、事業活動におけるINPUT（エネルギー、水資源、原材料）、OUTPUT（大気排出、排水、廃棄物、製品）のデータを集計し把握しています。

【2018年度環境負荷全体像：本社・福井工場合算】

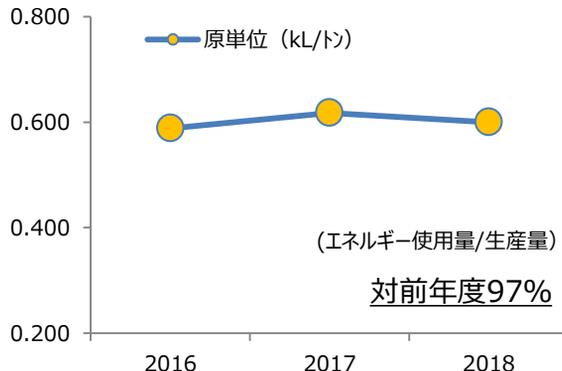


## ■各種データ（2016年度～2018年度）



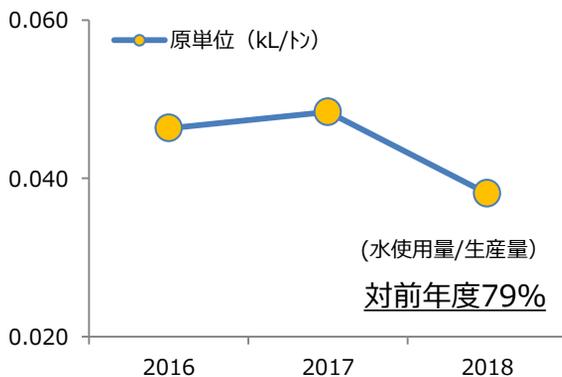
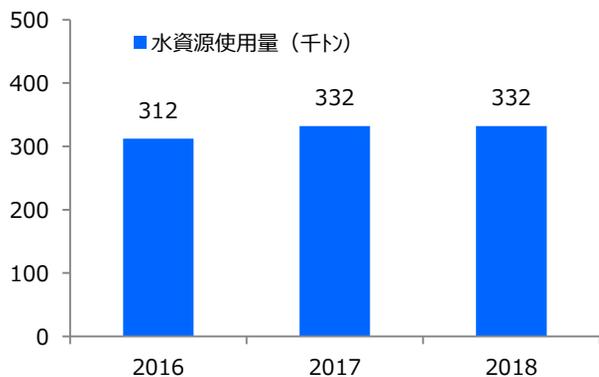
### 生産量・エネルギー使用量

18年度は福井工場新プラントが立ち上がり、生産量が全社で約1.3倍となりエネルギー使用量も併せて増加しましたが、原単位では17年度より3%の改善が観られました。



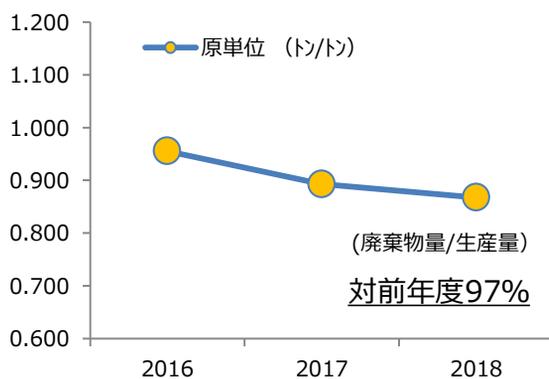
### 水資源使用量

18年度は福井工場新プラントが立ち上がり、生産量が全社で約1.3倍となりましたが本社工場における水資源使用量抑制が功を奏し、使用量は横ばいですが原単位は大きく改善されました。



### 廃棄物量

18年度は福井工場新プラントが立ち上がり、生産量が全社で約1.3倍となりましたが、一部廃棄物のリサイクル等により原単位が3%改善されました。



## 環境法令の順守状況

小西化学では、環境影響に配慮することが企業の重要な責務であると考え、法規制を順守すべく各規制値に対し監視・測定を実施するとともに半期に一度順守評価を行っております。

18年度の評価結果では環境関連法規制等の違反（罰金・制裁措置）はありませんでした。今後も継続して適正管理に努めてまいります。

### 大気汚染防止

法規制に基づき蒸気ボイラー・熱媒ボイラーから排出されるばい煙の監視・測定を行い、排出基準値内であることを監視しています。

### 水質汚染防止

定期的に工場集合排水をサンプリングし、COD・BODを測定し、排出基準値内であることを監視しています。

### 騒音振動防止

本社工場では、毎月、工場内の10地点を騒音計を用いて測定し、継続的にモニタリングしています。福井工場では、年2回、敷地境界線付近で分析業者による騒音測定を行っています。

### 悪臭防止

悪臭防止に関する法令順守のため、適切な対策と継続的モニタリングを実施しています。定期的に工場内及び近隣区域をパトロールし、臭気が無いか確認しています。

項目	測定調査項目	調査範囲	調査点	調査頻度	事業所	測定者
大気	ばい煙測定	蒸気ボイラー・ 熱媒ボイラー	2地点	毎年2回	本社工場	分析業者
			6地点	毎年2回	福井工場	分析業者
水質	COD・BOD	工場内集合排水	1地点	毎月2回	本社工場	分析業者
				毎月1回	福井工場	分析業者
騒音	工場内騒音	工場内	10地点	毎月	本社工場	当社
		敷地境界線付近	1地点	毎年4回	福井工場	分析業者
悪臭	臭気	工場内及び近隣区域	8地点	毎日2回	本社工場	当社
		排ガス除害設備	1地点	毎年4回	福井工場	分析業者
		敷地境界線付近	1地点	毎年4回		分析業者

## 廃棄物管理

電子マニフェスト※を導入し確実な管理を行っています。  
又、定期的に廃棄物処理業者の処理施設を訪問し、法令の順守状況などを確認しています。



## ワンポイントレッスン

マニフェスト制度とは、廃棄物の排出事業者が収集運搬業者、処分業者に委託した産業廃棄物の処理の流れを自ら把握し、不法投棄の防止など適正な処理を確保することを目的とした制度です。マニフェストを使用しないと罰則の対象となります。

電子マニフェストは、マニフェスト情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センター（公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター）を介したネットワークでやり取りする仕組みです。

この排出、収集、処分の3者が常にマニフェスト情報を閲覧・監視することにより、不適切なマニフェストの登録・報告を防止、法令の順守につながります。

## 化学物質管理

PRTR法に基づき、指定された物質の排出量、移動量の届出を行っています。

## 定期訓練

環境上の事故が発生した際の被害を最小限に抑えるため、対応手順を定め定期的に訓練を行っています。

### ■ 緊急時硫酸スクラバー運転訓練

発煙硫酸関連設備に不具合が生じ、発煙硫酸ガスが発生した場合に発生したガスを速やかに吸引、硫酸スクラバーにて処理する訓練



## 健康経営宣言

小西化学では、2017年8月「健康経営 優良法人2017」に認定され、社員の健康管理や健康増進を更に積極的に支援する小西化学工業株式会社「健康経営宣言」を発表しました。社員の健康に対して様々な活動に取り組んでおり、2018年も認定をいただきました。

### 小西化学工業株式会社『健康経営』宣言

小西化学工業株式会社は、社員の健康を重要な経営資源の一つと位置づけ、社員が健康で個々の能力や個性を発揮することにより、キラリと光る明るく元気な活力溢れる会社にしていきたいと考えます。

よってここに社員の健康管理や健康増進を更に積極的に支援することを通じ、『健康経営』への取り組みを宣言します。

社員の皆さんも、健康がご自身のみならず、ご家族や会社の基盤であることを理解し、自らの健康を管理し増進に取り組むことで、健康経営に参画してください。



2018  
健康経営優良法人  
Health and productivity

2017年8月21日  
小西化学工業株式会社  
代表取締役社長小西弘矩

### ■ 健康教室

2018年12月、全国健康保険協会主催の『健康教室』にて、肩こり・腰痛予防お手軽ストレッチを体験しました。



講師によるストレッチ指導

### ■ 禁煙キャンペーン

健康経営活動として第3回禁煙キャンペーンを2017年8月から開始しました。喫煙者が禁煙外来で治療を完了した場合、自費負担分を補助しています。これまでに10名以上が禁煙に成功しました。

## 緊急訓練

8月と12月の2回、全社で緊急訓練を行っています。今年度から、負傷した人員を安全な場所まで移動させる救出救護訓練に力を入れています。



避難訓練



救出救護訓練



放水訓練

## SDGsの取り組み

2018年の初出式にて、小西社長から“キラリ! KONISHI SDGs宣言”のキックオフが発表されました。環境委員会を中心に、全社を挙げて積極的にSDGs活動を推進しております。

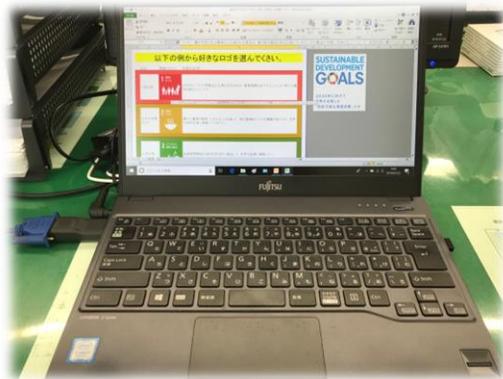
### SDGsとは？

国際社会が取り組むべき社会的課題として、2015年9月に「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連総会で採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



### ■ 本社工場サステナブルツリー設置

2017年の福井工場に続き、本社工場もサステナブルツリーを設置しました。本年度は社内ネットワーク上に各社員が投稿可能なSDGs宣言の投稿フォームを開設し、8月から10月の2か月間、投稿期間を設けました。合計で97件の投稿がありました。宣言内容を記入した短冊を、ツリーに吊り下げ、本社事務棟玄関に設置しました。来社されたお客様にも好評で、写真を撮って帰られるお客様もいました。



この活動を通して、社員一同がSDGsに貢献しようとする意識を高めることができました。



## ■製品とSDGsのかかわり

小西化学の主力製品・開発製品をご紹介します。さまざまな用途・分野でSDGsへ貢献しています。

### 主力製品 | DHDPS (ジヒドロキシジフェニルスルホン)

用途	分野		関連するSDGs目標
スーパーエンジニアリング プラスチック	電気電子 航空機 自動車 膜 等		 
顔色剤	感熱紙記録用紙		 

### 主力製品 | 多官能エポキシ樹脂

用途	分野		関連するSDGs目標
炭素繊維複合材料 (CFRP)向け用途	航空機 自動車 スポーツ		  

### 開発製品 | スルホン化スーパーエンブラ

用途	分野		関連するSDGs目標
機能性分離膜	水処理 電池		  

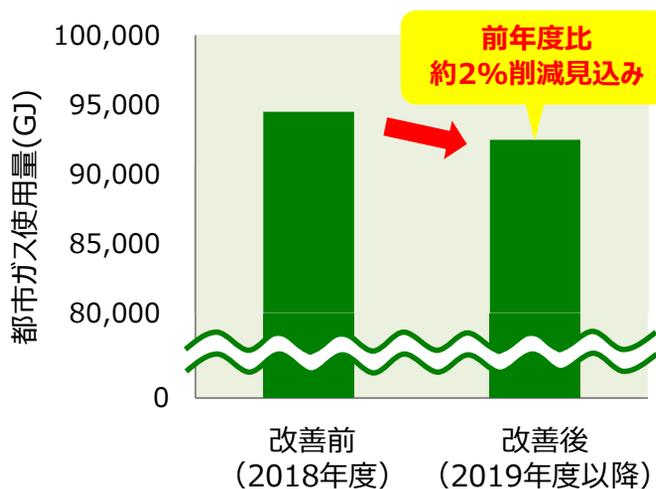
### 開発製品 | PSQ (ポリシルセスキオキサン)

用途	分野		関連するSDGs目標
LED ハードコート材料	半導体 光化学 接着		  

## ■ 濃縮設備ドレン回収システムによるガス使用量の削減

本社工場では、2019年3月、濃縮装置のドレン回収を目的として、設備改造を行いました。

それまで廃棄していた蒸気ドレンを回収し、その熱を再利用することで、蒸気ボイラーに使用する約2,000GJ分の都市ガスが不要となり、2018年度に対し、約2%削減できる見込みです。



## ■ 電気自動車充電設備設置

2019年1月、電気自動車用充電設備を設置しました。社用車のトヨタ・プリウスPHVのフル充電での電気走行距離は20km程度です。車両使用後に都度充電することで、近場への走行は電気のみで対応可能のため、ガソリンが不要となり、CO<sub>2</sub>排出量を削減しました。



当社社用車 トヨタ・プリウスPHV

充電設備

## ■ エコキャップ運動



小西化学は、2013年からペットボトルのキャップを回収し、リサイクル業者に売却した費用で発展途上国にワクチンを寄贈するエコキャップ運動を行っています。

2018年は19,379個のキャップを回収し、約24本のポリオ（小児まひ）ワクチンを寄付する事ができました。



## ■ 社員の家族との交流

福井工場では、社員の家族の工場見学会、レクリエーション行事へ招待し、職場の雰囲気を感じて頂きました。



プラントツアー



BBQ



フリスビーレク

## ■ 地域支援活動

和歌山港祭り、三国花火大会、缶サット甲子園和歌山大会等様々なイベントに協賛し地域社会の活動応援に取り組んでいます。



和歌山 港祭り



三国花火大会



缶サット甲子園和歌山大会

## ■ 環境パトロールと事業所周辺清掃

地域貢献活動の一環として、本社工場では毎朝事業所周辺の清掃を行っています。また、事業所周辺の臭気や騒音などの異常が無いのか、昼夜2回のパトロールを実施しています。



環境パトロール



清掃活動

# 産業廃棄物処理業者視察

産業廃棄物処理業者の定期視察を行っています。2019年2月、処理業者1社を訪問しました。現地にて許可看板、受け入れ施設、廃棄物処理状況の確認、取り組み内容を見学し、廃棄物処理委託先として問題無いことを確認しました。



許可看板①



ローリー受け入れ場



許可看板②



処理施設内の様子



廃棄物受け入れタンク



手作りのウェルカムボード



来場者へのメッセージカード

## ～ 視察レポート ～

- ✓ 安全対策や会社周辺への対応が十分されていました。
- ✓ 来場者に対して大きな声で挨拶をするなど、社員への教育もされていました。
- ✓ 廃棄物からのリサイクルや、処理方法を自社で検討するなど、廃棄物処理にとどまらない活動をしていました。

小西化学のインターンシップでは、研究部若手社員の指導の下、ラボ実験、分析、データ整理、レポート作成など、1週間程度で実際の研究開発業務を体験していただきます。全国から多数の応募をいただき、2018年度は11名の学生を受け入れました。



実験の様子



若手社員からの説明

### 参加者の感想

- 一番驚いたのは安全意識の高さです。新規実験前は事前KY（危険予知）を徹底的に行いました。改めて安全管理について考えさせられました。（高等専門学校3年）
- 仕事のやりがいや、就職活動についての相談の時間を設けてもらい嬉しかったです。（大学院博士2年）
- 社長が直接社員にアドバイスしているのを見て、社長と社員の距離の近さを感じました。（大学院修士1年）
- 品質保証部・製造部にも面談の機会を頂き、就職活動する上で参考になりました。（大学院修士1年）
- 部署間の風通しが良くアットホームな職場だと感じました。（大学院修士1年）

### 先輩社員のメッセージ

インターンシップに来て頂いた学生さんたちには、普段の学生生活では体験できない、実験前の安全対策や他部署の先輩社員との交流等、小西化学ならではの経験をして頂きました。彼らが当社の考えやこだわりを感じとり、進路選択に活かすことを願っています。

